

奈良市指定管理者選定委員会 審査項目表(採点集計表)

施設 の 名 称	奈良市ならまち格子の家
申請 団 体 の 名 称	奈良町にぎわいの家管理共同体

面接審査日 令和5年10月4日

適否審査

選定の基準	審査項目	各委員の審査									適否	意見
		A	B	C	D	E	適の数	否の数	判定			
1 市民による公の施設の平等利用を確保できるものであること	① 市民による平等利用に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	適	・申請団体は、現在奈良町内の別の市の施設管理も行っていることから、市民に対して適正な管理が見込まれる。 ・地域の連携、貢献に関し地域住民との盛り上げ方への方策についての意見がほしかった。	
	② 情報公開に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適			
	③ 法令遵守に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適			
2 事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	① 経理の適正性	適	適	適	適	適	5	0	適	適		
3 事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	① 施設の維持管理に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	適		
	② 施設の安全対策、非常時の対応に対する考え方及び方策	適	適	適	適	適	5	0	適	適		

点数審査

選定の基準	審査項目	各委員の採点									点数		意見	
		A	B	C	D	E	平均	計	満点	比率	優れている点	劣っている点		
1 事業計画書の内容が公の施設の効用を最大限に発揮させるものであること	① 施設の現状分析	4	4	4	4	4	4	20	100	25	150	30%	・奈良町全体を考え奈良町にぎわいの家を核に、ならまち格子の家を施設利用させるという方法は良い。 ・奈良町にぎわいの家での実績をもって事業者のため期待できるのではないかと。 ・学校教育との連携が考えられている。	・奈良町における、ならまち格子の家の位置づけが不明確である。 ・入場者増の計画もさらなる工夫が必要 ・広報が少ないため利用促進の手法を考える必要がある。 ・現在管理している他の公共施設運営と同様の考えが主になっており独自性が乏しい。
	② 事業実施計画	6	8	8	6	6	6.8	34		50				
	③ 自主事業実施計画	3	3	3	4	3	3.2	16		25				
	④ 利用の促進、サービスの向上の方策	6	6	6	6	6	6	30		50				
2 事業計画書の内容が公の施設の経費の縮減が図られるものであること	① 指定管理料の提案額	15	15	15	15	15	15	75	75	150	150	30%		
3 事業計画書に沿った公の施設の管理を安定して行う能力を有していること	① 職員の配置、勤務体制及び研修計画	6	6	6	4	4	5.2	26	64	50	100	20%	・奈良町にぎわいの家におけるイベント創出など評価すべき点が多くノウハウ活用や連携等が期待できる。 ・奈良町にある複数の施設運営をおこなっていることから地域の状況を熟知している。	
	② 類似事業の実績、ノウハウ	4	5	5	4	4	4.4	22		25				
	③ 財務状況の健全性	3	3	4	3	3	3.2	16		25				
4 その他効果的に公の施設の設置の目的を達成することのできる団体であること	① 地域等における連携・貢献	3	4	4	3	4	3.6	18	68	25	100	20%	・地域住民や周辺施設と連携し格子の家を運営していく意欲がある。	
	② 周辺の公共施設との連携・貢献	3	3	4	4	4	3.6	18		25				
	③ 環境に対する配慮	3	3	3	3	3	3	15		25				
	④ 施設の管理運営に対する熱意・意欲	3	4	4	3	3	3.4	17		25				
合計点		59	64	66	59	59	61.4	307	307	500	500	100%		

■ 採点等の基準

- 審査項目ごとに審査し、該当する評価を丸で囲んでください。  
・適否審査 指定管理者としてふさわしければ適、ふさわしくなければ否とします。  
※ 否と評価したときは必ず意見を記入してください。  
特に優れている:5点、優れている:4点、妥当である:3点、劣っている:2点、特に劣っている:1点、ただし、特に重要な項目は2倍の点数
- 指定管理料の提案額の評価・採点は、次のとおりとします。  
今年度予算の80%未満:30点 80%以上84%未満:27点 84%以上88%未満:24点 88%以上92%未満:21点 92%以上96%未満:18点  
96%以上100%未満:15点 100%以上104%未満:12点 104%以上108%未満:9点 108%以上112%未満:6点 112%以上:3点  
※ 特に優れている、特に劣っていると評価したときは必ず意見を記入してください。

総 評

・奈良町全体の振興を考えると施設個々を指定管理するより施設連携による情報発信、イベント戦略、人材活用などを総合的かつ一体的に運営管理していくことが望ましい。特に今後はインバウンド対応やリスク、安全管理が極めて重要となる。  
・施設連携や回遊性面で工夫の余地はあるが、(他の施設での)これまでの実績を考えると指定管理者として妥当である。  
・奈良町のにぎわいづくりのためのノウハウが十分備わっていると思われる。  
・今回は管理期間が1年であり将来を見据えた運営とならないかもしれないが複数の施設管理をおこなう強みを生かして来訪者へのおもてなしを実施していただきたい。  
・集客への広報に努めていただきたい。